

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第29週 （7月18日～7月24日）

★お知らせ

○夏型感染症（ヘルパンギーナ・手足口病・咽頭結膜熱（プール熱））に気を付けて！

ヘルパンギーナ・手足口病・咽頭結膜熱は夏期を中心に流行するウイルス性の感染症です。

これらの夏型感染症は主にウイルスが含まれた咳やくしゃみを吸いこんだり、手を介して口に触れたりすることで感染します。幼稚園、保育園、学校等のような集団生活ではうがい、手洗い等の予防対策に加えて、タオル・コップ等の共用を避ける等して、感染予防に努めてください。これらの感染症はほとんどの場合、予後良好です。しかしまれにですが重症化し、重篤な症状を呈することもありますので、早めに医療機関を受診してください。

○ヘルパンギーナに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第28週の3.53から第29週は2.30と減少していますが、安芸で増加しています。中央西では第28週に引き続き警報値を超え、高知県全域と安芸、高知市では注意報値を超えています。また、全国でも第28週の定点医療機関当たりの報告数が4.05となるなど注意報値を超え増加しています。

ヘルパンギーナは、38℃以上の突然の発熱の後、のどの奥に水ぶくれが吹き、水ぶくれが破れた際の痛み等から、食事や水分を十分にとれないために脱水症状になることもあります。その後2～4日で解熱し、7日程度で治ります。合併症としては、熱に伴う熱性けいれんとまれに髄膜炎や心筋炎が生じることがありますが、ほとんどの場合予後は良好です。

ワクチン等の特別な予防法はなく、感染を防ぐためには患者との濃厚接触を避け、手洗い、うがい、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

病原体検出情報では、臨床診断名「ヘルパンギーナ」として27週、28週に搬入された検体からCoxsackievirus A4が2例、Human metapneumovirusが1例が検出されています。

○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第28週の0.23から第29週では0.30と増加しています。特に安芸では増加し、警報値を超えています。

伝染性紅斑は別称「リンゴ病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。10日から20日の潜伏期間があり、その後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がります。通常1週間程度でそれらは消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。伝染性紅斑は、飛沫感染や接触感染をします。予防は手洗い、咳エチケットです。

○手足口病に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第28週の0.77から第29週は0.57と減少していますが、須崎、安芸で増加し、須崎では注意報値を超えています。

手足口病は、手のひら・足の裏などに米粒大の水ぶくれを含む発疹、口の中に口内炎ができます。他に38℃以下の発熱や食欲不振、のどの痛みなどが見られますが、一般に軽症で、3～7日でおさまります。重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があります。

これらの夏型感染症は主に飛まつ感染、接触・経口感染により感染が拡大します。幼稚園、保育園、学校等の集団生活ではうがい、手洗い等の予防対策に加えて、タオル・コップ等の共用を避ける等して、感染予防に努めてください。

病原体検出情報では、臨床診断名「手足口病」として28週に搬入された検体からCoxsackievirus A14が2例検出されています。

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第28週の0.33から第29週は0.60と増加しています。中央西、幡多、高知市で増加し、中央西、幡多では注意報値を超えています。

咽頭結膜熱は、例年5月中下旬に患者数が増加し始め、7月下旬から8月上旬をピークに流行が見られる夏期の疾患で、プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染ですが、プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう

- 1) 流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使いましょう。
- 4) プールからあがった時はシャワーをよく浴びましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第29週は基幹定点からの4例に加えて、定点医療機関からのホット情報で16例、感染症情報収集システムでは11例の報告があり、引き続き注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。感染経路は主に飛まつ感染や接触感染です。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内などでの濃厚な接触で感染します。患者の感染力は発症から10日前後（症状持続の例でも6週間程度）で消失しますが、この間は濃厚な接触をなるべく避けるようにしましょう。

予防対策は手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第28週の0.07から第29週では0.03と急減していますが、幡多では増加し、注意報値を超えています。また、第29週時点の報告数（実数）は65例と昨年1年間の報告総数(27例)の2倍を超えていることから注意が必要です。

病原体検出情報では29週に搬入された検体から *Bordetella pertussis*（百日咳菌）が3例検出されています。

百日咳は、感染力が強く、軽症でも菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○流行性耳下腺炎（おたふく風邪）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第28週の0.93から第29週では0.50と減少していますが、須崎、高知市で増加しています。感染症情報収集システムでは14例の報告があり、特に幡多地域の児童生徒で多発しているという報告もあります。

流行性耳下腺炎は、3～6歳の小児に多い感染症です。耳の下やあごの下の腫れと痛みが特徴です。通常、1～2週間で軽快しますが、まれに無菌性髄膜炎、難聴、精巣炎等の合併症を起こすことがあります。感染しても症状が現れない不顕性感染が30%程度あるとされています。

感染力はとて強く、咳等のしぶきによる飛まつ感染と唾液が付着した物への接触等による接触感染があります。予防対策には、手洗い、うがいを励行しましょう。また、任意による予防接種がありますので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

★マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。

長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、マダニに咬まれないようにしましょう。吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

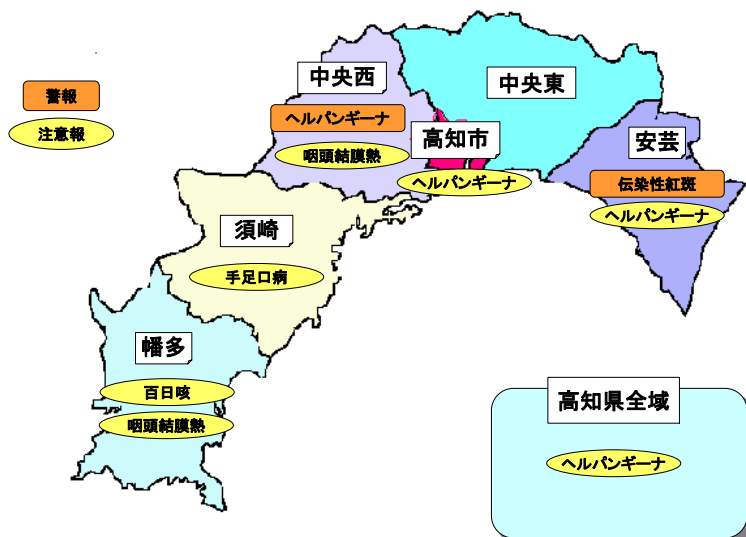
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
29週（7月18日～7月24日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
ヘルパンギーナ	↘	2.30	安芸で増加し、中央西では警報値を超え、高知県全域と安芸、高知市では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	2.17	高知市、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	0.87	高知市で増加しています。
咽頭結膜熱	↗	0.60	中央西、幡多、高知市で増加し、中央西、幡多では注意報値を超えています。
手足口病	↘	0.57	須崎、安芸で増加し、須崎では注意報値を超えています。

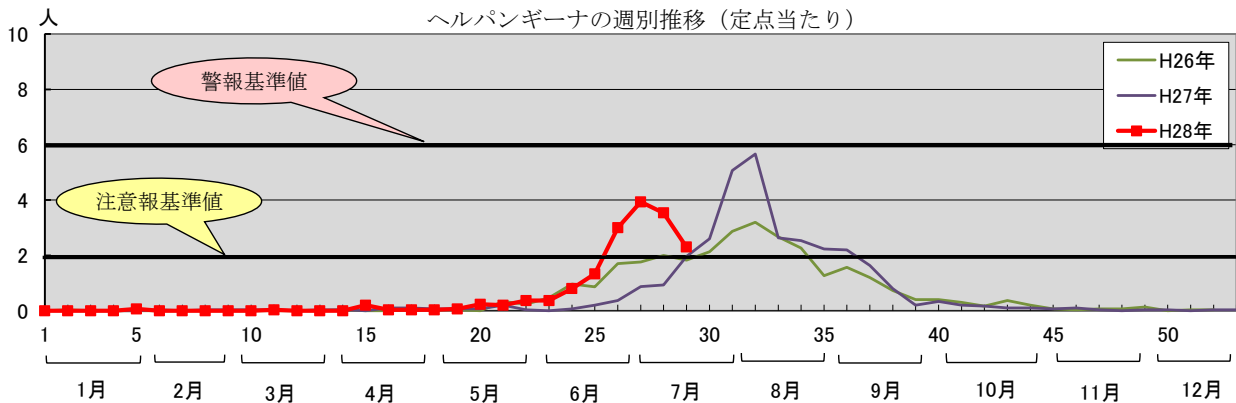
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

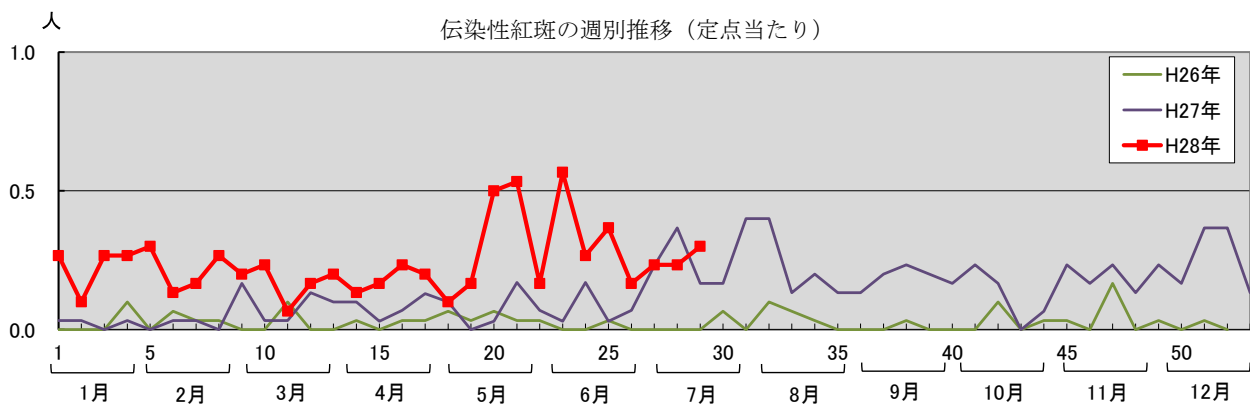
○ヘルパンギーナ 第29週： 2.30 (注意報値：2.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.30 (前週：3.53) と減少していますが、安芸 2.50 (前週：1.00) で増加し、中央西では警報値を超え、高知県全域と安芸、高知市では注意報値を超えています。



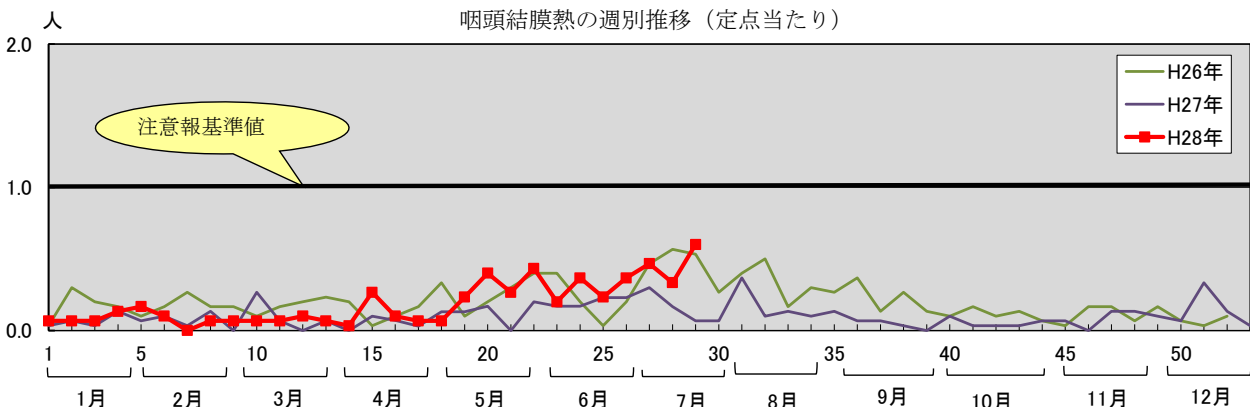
○伝染性紅斑 第29週： 0.30 (注意報値：1.00 警報値：2.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.30 (前週：0.23) と増加しています。安芸 3.00 (前週：0.50) で増加し、警報値を超えています。



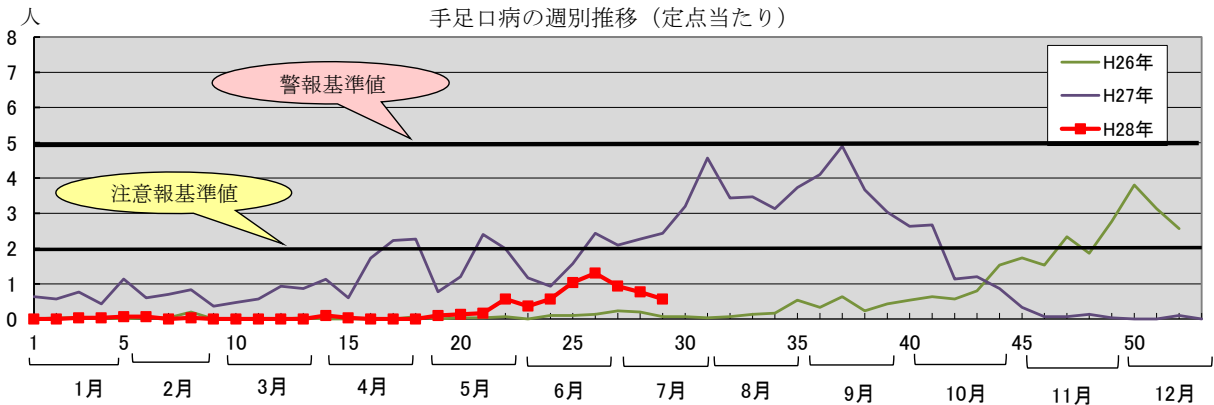
○咽頭結膜熱 第29週： 0.60 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.60 (前週：0.33) と増加しています。中央西 1.00 (前週：0.67)、幡多 1.00 (前週：0.00)、高知市 0.82 (前週：0.27) で増加し、中央西、幡多では注意報値を超えています。



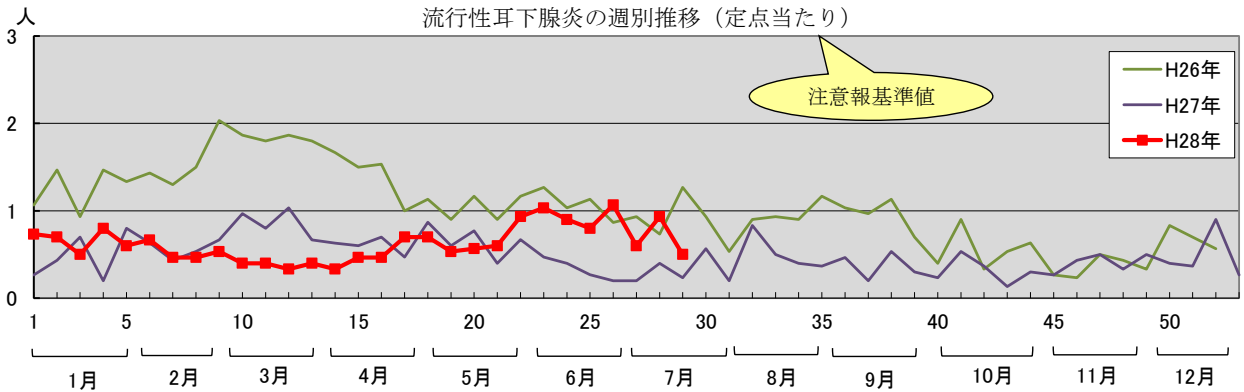
○手足口病 第29週： 0.57 (注意報値：2.00 警報値：5.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.57(前週：0.77)と減少していますが、須崎2.00(前週：1.00)、安芸0.50(前週：0.00)では増加し、須崎では注意報値を超えています。



○流行性耳下腺炎 第29週： 0.50 (注意報値：3.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.50(前週：0.93)と減少していますが、須崎1.00(前週：0.00)、高知市0.55(前週：0.36)で増加しています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
29	百日咳またはマイコプラズマ感染症	12	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
29	百日咳	5	男	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>
29	百日咳	14	女	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
27	ヘルパンギーナ	3	女	須崎	Coxsackievirus A4
27	ヘルパンギーナ	2	男	高知市	Human metapneumovirus
28	ヘルパンギーナ	3	男	須崎	Coxsackievirus A4
28	インフルエンザ様疾患	1	女	幡多	Coxsackievirus A4
28	急性発疹症	2ヶ月	女	須崎	Cytomegalovirus
28	無菌性髄膜炎	9	男	幡多	Echovirus 6
28	無菌性髄膜炎	9	女	幡多	Echovirus 6
28	手足口病	2	女	須崎	Coxsackievirus A14
28	手足口病	5	男	須崎	Coxsackievirus A14

★全数把握感染症

第 29 週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	65	100歳代男	高知市
		1	66	80歳代男	安芸
5類	梅毒	1	8	30歳代男	中央西

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安 芸	田野病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（1歳男）
中央東	あけぼのクリニック	マイコプラズマ感染症2例（8歳、12歳）
		カンピロバクター腸炎2例（2歳、3歳）
	高知大学医学部附属病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例（3歳男）
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎8例（2歳女、4歳女、8歳女2人、10歳男、12歳女2人、13歳男）
		病原性大腸菌O-25腸炎1例（3歳男）
	細木病院小児科	カンピロバクター1例（14歳男）
	福井小児科・内科・循環器科	帯状疱疹1例（7歳男）
		伝染性紅斑1例（2歳女）
		溶連菌感染症10例
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例（11歳男）
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症1例（1歳男）
アデノウイルス1例（10ヶ月男）		
ヒトメタニューモウイルス感染症1例（2歳男）		
病原性大腸菌7例（0ヶ月女5人、2ヶ月男、16歳女）		
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ2例（1歳男：土佐市、3歳女：いの町）
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎1例（5歳女）
		アデノウイルス感染症（扁桃炎）1例（1歳男）
須 崎	もりはた小児科	マイコプラズマ肺炎1例（13歳男）
幡 多	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎1例（9歳男）
	幡多けんみん病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例（3歳女）
	さたけ小児科	膿痂疹2例（2歳男、4歳男）
マイコプラズマ1例（8歳女）		

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成 28 年 2 月 15 日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年6月16日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年7月8日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

●政府広報オンライン 何が危ない？どう防ぐ？ジカウイルス感染症（ジカ熱）予防のポイント

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html>

●オリンピック・パラリンピックでブラジルへ渡航される方へ

<http://www.forth.go.jp/news/2016/02051708.html>

★全国情報

第27号（7月4日～7月10日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核332例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症110例、腸チフス2例

4類感染症：E型肝炎9例、A型肝炎3例、エキノコックス症1例、オウム病2例、
重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病1例、デング熱4例、日本紅斑熱9例、
レジオネラ症49例

5類感染症：アメーバ赤痢17例、ウイルス性肝炎3例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症12例、急性脳炎4例、
クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症9例、
後天性免疫不全症候群20例、ジアルジア症3例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例、
侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症17例、水痘（入院例に限る）4例、
梅毒56例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風1例、風しん3例

報告遅れ：E型肝炎3例、重症熱性血小板減少症候群1例、デング熱1例、日本紅斑熱2例、
レジオネラ症3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例、急性脳炎2例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒35例、
播種性クリプトコックス症1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第29週 平成28年7月18日(月)～平成28年7月24日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第29週							計	前週	全国(28週)	高知県(29週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/7/24				H28/1/4～H28/7/17	
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	131 (0.03)	14,926 (310.96)	1,582,625 (319.92)	
小児科	咽頭結核熱			9	3	1	5	18 (0.60)	10 (0.33)	1,791 (0.57)	164 (5.47)	40,316 (12.77)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	18			5	26 (0.87)	29 (0.97)	7,591 (2.42)	1,787 (59.57)	238,073 (75.39)		
	感染性胃腸炎	2	13	39	1	1	9	65 (2.17)	73 (2.43)	13,954 (4.44)	4,489 (149.63)	542,811 (171.88)		
	水痘		2	2				4 (0.13)	4 (0.13)	1,209 (0.38)	205 (6.83)	36,611 (11.59)		
	手足口病	1	4	7	1	4		17 (0.57)	23 (0.77)	2,298 (0.73)	206 (6.87)	12,882 (4.08)		
	伝染性紅斑	6		3				9 (0.30)	7 (0.23)	1,023 (0.33)	209 (6.97)	40,505 (12.83)		
	突発性発疹	1	3	6	1	1		12 (0.40)	15 (0.50)	1,755 (0.56)	289 (9.63)	42,034 (13.31)		
	百日咳						1	1 (0.03)	2 (0.07)	71 (0.02)	60 (2.00)	1,576 (0.50)		
	ヘルパンギーナ	5	11	25	20	1	7	69 (2.30)	106 (3.53)	12,712 (4.05)	496 (16.53)	43,383 (13.74)		
	流行性耳下腺炎		2	6	1	2	4	15 (0.50)	28 (0.93)	3,978 (1.27)	544 (18.13)	80,113 (25.37)		
RSウイルス感染症			1			1	2 (0.07)	2 (0.07)	632 (0.20)	589 (19.63)	25,286 (8.01)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	8 (0.01)	()	237 (0.34)		
	流行性角結膜炎							()	()	575 (0.84)	11 (3.67)	12,825 (18.59)		
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	()	13 (0.03)	4 (0.50)	256 (0.54)		
	無菌性髄膜炎			1			1	2 (0.25)	4 (0.50)	50 (0.11)	24 (3.00)	634 (1.34)		
	マイコプラズマ肺炎		2	1			1	4 (0.50)	4 (0.50)	431 (0.91)	141 (17.63)	7,362 (15.53)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	1 (0.13)	7 (0.01)	26 (3.25)	207 (0.44)		
	感染性胃腸炎							()	()	13 (0.03)	232 (29.00)	4,979 (10.50)		
計 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	39 (5.30)	119 (10.56)	27 (8.99)	10 (5.00)	34 (6.40)	245 (7.94)			48,242	24,402 (612.22)	2,712,715		
前週 (小児科定点当たり人数)	13 (6.50)	75 (10.29)	112 (9.99)	52 (17.33)	14 (7.00)	42 (7.60)		308 (9.96)						

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第29週							計	前週	全国(28週)	高知県(29週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H28/1/4～H28/7/24				H28/1/4～H28/7/17	
インフルエンザ	インフルエンザ										0.03	310.96	319.92	
小児科	咽頭結核熱			0.82	1.00	0.50	1.00	0.60	0.33	0.57	5.47	12.77		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.29	1.64			1.00	0.87	0.97	2.42	59.57	75.39		
	感染性胃腸炎	1.00	1.86	3.55	0.33	0.50	1.80	2.17	2.43	4.44	149.63	171.88		
	水痘		0.29	0.18				0.13	0.13	0.38	6.83	11.59		
	手足口病	0.50	0.57	0.64	0.33	2.00		0.57	0.77	0.73	6.87	4.08		
	伝染性紅斑	3.00		0.27				0.30	0.23	0.33	6.97	12.83		
	突発性発疹	0.50	0.43	0.55	0.33	0.50		0.40	0.50	0.56	9.63	13.31		
	百日咳						0.20	0.03	0.07	0.02	2.00	0.50		
	ヘルパンギーナ	2.50	1.57	2.27	6.67	0.50	1.40	2.30	3.53	4.05	16.53	13.74		
	流行性耳下腺炎		0.29	0.55	0.33	1.00	0.80	0.50	0.93	1.27	18.13	25.37		
RSウイルス感染症			0.09			0.20	0.07	0.07	0.20	19.63	8.01			
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.34		
	流行性角結膜炎									0.84	3.67	18.59		
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.03	0.50	0.54		
	無菌性髄膜炎			0.20			1.00	0.25	0.50	0.11	3.00	1.34		
	マイコプラズマ肺炎		2.00	0.20			1.00	0.50	0.50	0.91	17.63	15.53		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.01	3.25	0.44		
	感染性胃腸炎									0.03	29.00	10.50		
計 (小児科定点当たり人数)	8.00	5.30	10.56	8.99	5.00	6.40	7.94				612.22			
前週 (小児科定点当たり人数)	6.50	10.29	9.99	17.33	7.00	7.60		9.96						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869